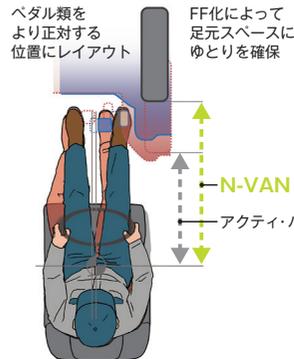
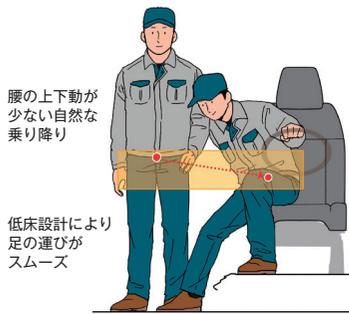


FF・低床設計により、スムーズな乗り降りと自然な着座姿勢を実現

低床設計によって、従来軽バンに対して乗降時の足の運びをよりスムーズにするのと同時に、腰の移動が自然に行えるラクな乗り降りを実現しました。また、FF化によってフロントシートに対するフロントタイヤの位置が従来軽バンに対して前方に移動したことで、足元にゆとりを確保。ペダル類をより正対する位置にレイアウトすることができ、自然な足の位置間隔でペダル操作が行えます。

■着座位置イメージ



●ペダルの操作性も向上

足元スペースのゆとりに加えて、街中でストップ&ゴーが繰り返されるペダル操作を考慮し、アクセルペダルには専用アームを採用することで、ペダルの位置や角度を最適化。ブレーキペダルはリンク構造を採用し、足を踏み降ろす方向に自然に追従できるようにしました。

長時間運転していても疲れにくいシート設計

乗用車と同等のゆったりしたサイズのシート骨格を使用し、シートバックのサイドにはボルスターを設けて腰をしっかりと保持することで、長時間座っていても疲れにくい姿勢を保つことが可能。シートスライド量を200mm確保したことと合わせて、運転しやすく疲れにくい最適なドライビングポジションが得られます。また、シートバックのショルダー部をほぼフラットにすることで振り返りがしやすく、後方の安全確認をよりスムーズに行えるようにするなど、運転中のストレスを抑える工夫を施しています。



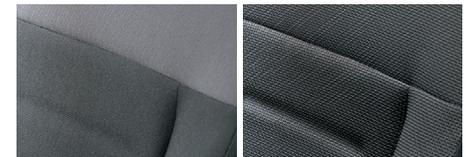
頻繁な乗り降りでも破れにくい工夫

軽バンユーザーの使われ方を調査したところ、頻繁に繰り返される乗り降りによって、シートクッション右側の土手部にある縫製ラインが擦れることで、経年の使用によってはシート生地が破れるケースが見られました。そこでN-VANではクッションの生地をサイドから下にまで一枚生地で張り込むことで土手の縫製ラインをなくしました。これにより、摩耗のきっかけを与えないことで破れにくいシートを実現しています。



●乗用車感覚のシート表皮

シート表皮には乗用車感覚にこだわり、Gにはトリコットを、Lおよび+STYLEにはより手触りの良いジャージー素材を採用しています。



G シート表皮(トリコット)

L/+STYLE シート表皮(ジャージー)

休息時の快適性も考慮

シートバックはリクライニング機構によってほぼ水平まで倒すことが可能。しかも大型ヘッドレストとシートバックのショルダー部がほぼフラットなことから、休息時もゆったりと快適に過ごすことができます。



さらなる快適性を提供するアームレスト

休息時にゆったりとくつろげるよう、大型のアームレストをドアライニングに設置。L と+STYLE のCVT 車にはドライバーズシート左側にもアームレストを装備。長時間の運転でも疲れにくく、休息時にはくつろげる運転席を実現しています。

